

令和2年度一般会計決算(前年比+97億円) 歳出 361億4,197万6,620円

【歳入】

| | |
|----------|---------------------------|
| 市税 | 131億2552万4千円 |
| 市民税 | 54.5億円(個人38.9億円・法人15.6億円) |
| 固定資産税 | 65.3億円(都市計画税6.8億円) |
| 軽自動車税 | 2.2億円(市たばこ税5.6億円) |
| ふるさと寄付金 | 6億316万4千円 |
| 地方消費税交付金 | 16億4193万9千円 |
| 地方交付税 | 7億4799万5千円 |
| 国庫支出金 | 134億8683万4千円 |

【歳出】(主な事業)

| | |
|-------------|------------|
| ふるさと応援寄附金事業 | 3億509万9千円 |
| 田代まちセン改修事業 | 1億4231万2千円 |
| 子どもの医療費助成事業 | 2億3497万5千円 |
| 保健センター改修事業 | 1億5392万9千円 |
| 企業立地奨励金 | 1億1325万3千円 |
| 地方バス路線事業 | 4919万7千円 |
| 西中学校大規模改修事業 | 2億7224万円 |
| 市民文化会館改修事業 | 2億3495万3千円 |
| 市民球場改修事業 | 4億3435万9千円 |

(前年比+国庫支出金による主な事業)

| | |
|-------------|------------|
| 特別定額給付金 | 74億820万4千円 |
| 緊急事業支援給付金 | 2億4658万6千円 |
| 子育て世帯特別給付金 | 1億3865万2千円 |
| ひとり親世帯特別給付金 | 1億1386万7千円 |
| 応援クーポン券発行事業 | 1億6157万円 |
| 学校ICT環境整備事業 | 3億7019万9千円 |

令和3年9月定例会

一般会計補正予算 10億9747万9千円 令和3年度補正後 298億4381万1千円

【歳出】

| | |
|-----------------------------|----------|
| 道路新設改良事業(田代昌町交差点、加藤田町入口付近) | 2680万円 |
| 交通安全施設整備事業(轟木川放水路線防護柵等) | 1500万円 |
| 河川浸食改良事業(大野川護岸改修工事等) | 2940万円 |
| 中小事業者応援金(法人8万円・個人5万円) | 4243万2千円 |
| 佐賀支え愛支援金(飲食店1店舗5万円) | 580万円 |
| 学校プールろ過装置改修(鳥栖小学校・基里中学校プール) | 3000万円 |
| 財政調整基金(合計45億3788万3千円) | 4億3700万円 |
| 公共施設整備基金(合計37億30万3千円) | 4億円 |

より良い鳥栖に わくわく宣言



発行者
西依義規
〒841-0005
鳥栖市弥生が丘
2-110-1
TEL.0942-84-8439
e-mail:
waku2sg@gmail.com



8月21日、鳥栖市議会会派(新風クラブ・伊藤・藤田・西依)の市政報告会・意見交換会を弥生が丘まちづくり推進センターにて開催しました。新型コロナウイルスの感染者数も増加傾向にありましたが、開催が中止か迷いましたが、感染対策(マスク・手指消毒・距離・換気など)を十分に行って開催しました。

報告内容は、コロナワクチン接種、スポーツ施設、新庁舎整備、GIGAスクール構想等で、私からは、建設経済常任委員会の所管の中から

市政報告会・意見交換会(新風クラブ) 市民の視点に立った政策提言で新たな風を起こします



1. 道路整備について(国道・県道・市道)、鳥栖市地域との協働による安心安心の道づくり事業見直し案について

2. 公共交通について(路線バス・ミニバス)、運行状況、市の負担、利用促進策(私案)について

その後、意見交換では、GIGAスクール構想(タブレット導入)で、各議員、多少考え方の違う部分もありましたが、色々な考えやご意見をいただき、情報共有を図ることができました。

③歩きたくなる まちづくり!
(路線バスの再編、歩道の整備とバリアフリー化、外出スポットづくり)

【提案】
・市内路線バスの市街地循環線(鳥栖駅⇄市役所⇄新鳥栖駅⇄市民文化会館⇄スタジアム)を新設
・目的の施設に連続的に移動できるのかに配慮し、鳥栖駅周辺(西側エリア)を重点的にバリアフリー化(仮称)健康スポーツセンターの整備を令和7年度以降から令和5年度に前倒し

④新スポーツ都市宣言!
(スポーツ・健康まちづくり、施設整備、プロチームとの連携)

【提案】
・新スポーツ都市宣言と健康スポーツ推進計画を策定
・運動広場(グラウンド)の新設
・鳥栖スタジアムの一部を高額席に改修、指定管理者制度導入を検討

⑤「食」で地域ブランディング!
(新ご当地グルメの開発)

【提案】
・鳥栖ならではの食材と郷土料理の掘り起こしと飲食店が主役となった積極的なアイデアの提案。
・サツカー観戦しながら食べる「鳥栖スタジアムの新名物」



スタジアムの収益UPと新名物の開発

③安全安心の地域づくり!
推進センターを地域の拠点に

①健康長寿のまちづくり
(健康都市)運動・栄養・社会参加)

【提案】
・まちづくり推進センターと地域包括支援センターの更なる連携で、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指す。

・健康マイレージのリニューアル
・福祉乗車券の対象条件を緩和

②地域で子どもの居場所づくり
(移動児童館、子ども食堂)

【提案】
・月に1回、各まちづくり推進センターを巡回(人員増員と移動児童館号の整備)
・推進センターで「子ども食堂」を実施していただける団体を募集。(月2回4万円、年48万円を助成)

③生活道路の整備と安全確保
(道路拡幅、防犯灯・防犯カメラの整備)

【提案】
・通学路については、児童生徒の安全確保の観点から整備を急ぐ必要があるため「協働による安全安心の道づくり事業」を大幅に見直す。
・防犯灯は、きめ細やかな整備を。
・防犯カメラは、「自治会等街頭防犯カメラ」の設置費用の補助を。



交通安全対策で道路拡幅(加藤田町入口)

④災害に強い人づくり
・まちづくり
(防災組織と消防団の連携、浸水対策)

【提案】
・地区防災組織連絡協議会(自主防災組織・消防団等)を立ち上げる。
・公共施設(まちづくり推進センターなど)と町区公民館・個人宅(助成金)に雨水流出抑制施設を設置。



鳥栖市消防団第3分団第4部(年末警戒の様子)

⑤まちづくり推進協議会(まち協)の充実
(各種団体の情報共有と連携)

【提案】
・自治会連合会、社会福祉協議会、交通対策協議会、スポーツ協会、青少年育成会の連携を図る。
・条例でまち協の位置づけを。

9月議会一般質問

佐賀県と連携した健康インセンティブを

【西依(質問)】鳥栖市が行っている「うらら健康マイレージ」と佐賀県公式スマートフォンアプリ「SAGATOCO」とのポイントの併用はできないのか。

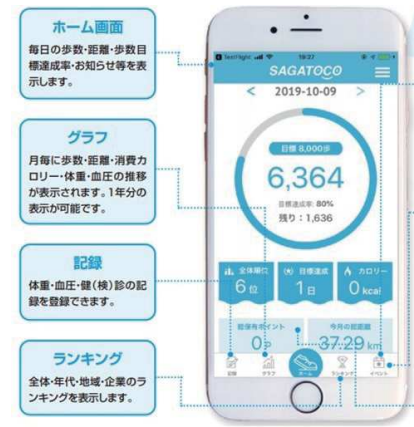


【部長(答弁)】

健康マイレージクラブ「自分でチャレンジジ賞」では、本人が1日30分歩くことを目標にした場合、目標達成したら毎日5ポイントが加算され、SAGATOCOでは歩いた歩数に応じてポイントが加算されますので、ポイント加算の方法が異なります。本市の健康マイレージにSAGATOCOのポイントを取り入れる場合には、異なる基準で獲得したポイントや健診受診を両方で計上しては

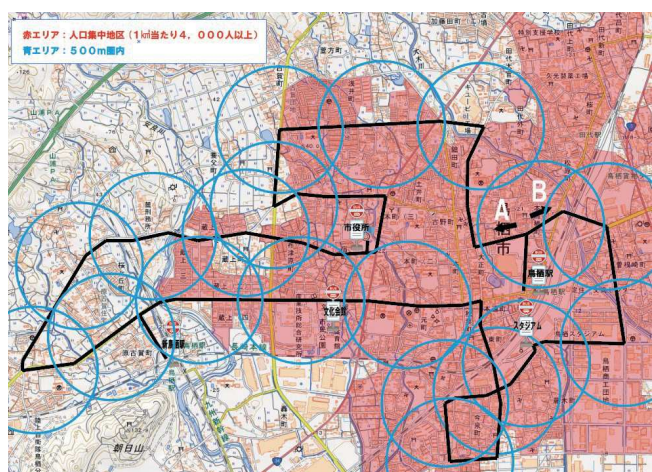
歩きたくなるまちづくり(運動・栄養・社会参加)

る場合の取り扱いなど、ポイント移行する際のルール作りも必要となり、電子版とカード式の違いなどもございますので、どのような連携が可能か模索して参りたいと考えております。



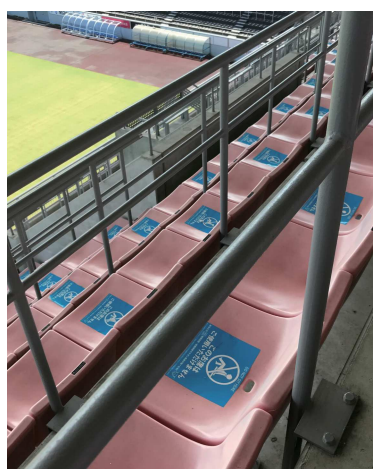
歩いて暮らせるまちには市内循環路線バスが必要では

【西依(質問)】超高齢社会を迎えようとしている中、コンパクトシティ・プラス・ネットワークの考え方から、市内路線バスの市街地循環線(鳥栖駅市役所・新鳥栖駅市民文化会館・スタジアム)など、路線バス再編の検討を始めてはどうか。



【部長(答弁)】路線バスの市内線は、河内線・麓線・弥生が丘循環線の3路線があり、令和2年度の実績としまして、令和元年10月から令和2年9月までの利用者数は、96,354人で、運行事業者への補助金として2,791万9千円を支出しています。路線バスの市内線の再編となりますと、路線バスの広域線、ミニバスも含めました公共交通全体の再編が必要となりますので、次の地域公共交通計画の策定の際などに、運行事業者を始めとした関係機関との協議を行いながら、その必要性や実現可能性についても十分な検討が必要であると考えております。

サガン鳥栖支援! スタジアムに高額席を



【西依(質問)】収容人数を減らして、付加価値を施した高額席を増設するスタジアムがあるが、鳥栖スタジアムでも3階席の後6列を高額席3列に改修する等を検討してはどうか。(試算・収容人数△1386人・収益+332万円・年間5644万円の増収)

【部長(答弁)】

座席の価値を高めることは、観客のホスピタリティの向上に繋がるものと認識しております。座席数を減らし、付加価値を施した高額席を設置する場合は、リーグのスタジアム基準を踏まえた上で、ホームゲームの集客数及び収益への影響もあるため、サガン鳥栖との連携を密にしながら、検討していく必要があるものと考えております。

より良い鳥栖にするための3つの重点政策と15の個別施策の提案

①子育て家族を全力で応援! 子育て・教育環境づくり

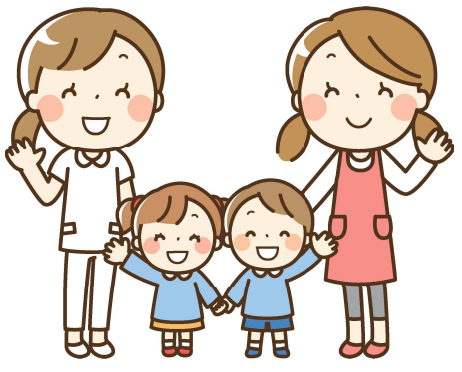
【提案】10〜2歳の入所待ち児童の解消と病児保育の事業開始
・今後3年間の新規採用者に、月2万円、5年間で最大120万円を直接支給(市独自の保育士確保)
・保育施設や医療機関に病児保育事業導入への課題抽出と解決への支援、市立病児保育施設の検討

②インクルーシブ教育の推進と学校教育費の拡充(人材育成、環境整備、ICT教育)

【提案】福祉と教育が一体となった総合的な相談及び支援体制を充実するための組織機構の改革(子ども部の創設)
・共に学び成長する子ども条例が掲げる施策を具体的に推進するための基本計画(実施計画)の策定
・特別支援教育とインクルーシブ教育の考え方の整理
・ICT(タブレット)の積極的活用
・将来を見据えた学校の改修(放課後児童クラブを校舎内に集約等)

③子どもが遊べる「魅力ある公園整備」(遊具の新設と公園の芝生化)

【提案】田代公園遊具広場の芝生化と樹木の伐採
・中央公園の整備(複合遊具の設置と遊具広場の芝生化)、公募設置管理制度(パークPFI)導入の検討
・朝日山公園の整備(芝広場への複合遊具の設置とアクセス改善)



④子育て応援バス乗車券(子育て世帯の買い物・公共施設への移動を支援)

【提案】子育て応援バス乗車券(高齢者福祉乗車券と同じく5千円分を1500円)を、子どもと同乗の保護者、妊婦の方に販売(無償化も検討)
・地方バス路線維持費補助金が減少し、実質事業費は、ほぼゼロ歩いで暮らせるまちづくり。

⑤サンメッセ鳥栖を子育て応援施設に(子ども図書館・屋内子ども広場・多目的ルーム・自習室)

【提案】3Fを子育て応援施設スペースに



サンメッセ鳥栖を貸館施設から子育て応援施設に

②地域資源を活かし魅力発信! 鳥栖ならではのまちづくり

①鳥栖の玄関口! 鳥栖駅周辺整備(2階駅舎・道路・交差点の整備、未利用地の活用)

【提案】橋上駅(124億円で断念)から2階駅に変更
・虹の橋のリニューアル(屋根とエスカレーター)し、2階駅舎の改札口と虹の橋を連結
・西口駅前広場の計画縮小

②幹線道路整備で渋滞の解消を! (計画道路整備と新設道路の検討)

【提案】国道34号線をバイパス化で国に整備要望
・山浦スマートインターチェンジを国に整備要望
・県道中原鳥栖線の整備延長と国道34号線との連結を県に要望
・鳥栖市道路整備計画の早期策定
・(仮)市道神辺山浦線(弥生が丘アウトレット山浦PA)を市で検討
・(仮)市道小郡弥生が丘線(国道3号弥生が丘入口交差点小郡市方面)を市で検討